



市政トピックス 最近の主な動きを紹介します



▶会場では、高齢者疑似体験コーナーや福祉施設などの出店がありました。



◀少年の主張。写真の発表者は第三中学校の山崎さゆりさん。

赤屋地区自主防に防災備品

赤屋地区の自治会で組織する赤屋地区自主防災組織に、防災用備品一式が導入されました。集落が点在する同地区は、高齢化率が高く、独居や高齢者への世帯が多いのが特徴。備品の導入で防災体制の強化が図られ、災害時の被害防止・軽減の効果が期待されます。

事務局長の福田春夫さんは「今後、自治会の防災訓練で使用方法を確認したい」と話しています。※備品は、宝くじのコミュニケーション助成事業で導入されました。



▲たんかや発電機、トイレテントなどを導入。



▶防犯カメラの起動スイッチを押す近藤市長（中央）ら関係者。

人権を考えるフェスティバル
人権が尊重される社会の実現を目指して、11月11日に「人権フェスティバルつなげて未来や2018 in やすぎ」を開催しました。会場となった総合文化ホール「アルテピア」では、中学生による少年の主張や人権をテーマにした映画を上映。さまざまな人権課題への理解を深めた1日となりました。
高齢者疑似体験をした高木智広さん（小学3年生）は「お年寄りが階段を上るときに手すりが必要なのがよくわかった」と話していました。

中海ふれあい公園に防犯カメラ

中海ふれあい公園に防犯カメラを設置し、11月27日に運用開始式を行いました。今回のカメラは安来十神ライオンズクラブ（木下聡会長）から寄贈されたもの。式では近藤市長が「子どもをはじめとした多くの利用者の安心・安全が、一層確保されます」とあいさつしました。

大型遊具や築山などがある同公園は、10月1日に開園したばかり。週末を中心に多くの家族連れなどが訪れています。カメラの設置は犯罪発生への防止にもつながります。

市職員不祥事についてのお詫び

この度、官製談合防止法違反の疑いで市職員が逮捕された件につきまして、市民の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後は同様のことが発生しないように職員に徹底するとともに、入札のチェック体制の強化に努めて参ります。

安来市長 近藤宏樹